



健友

けんゆう

板橋区退職者会会報
第 93 号 現在の会員数 473 名
1月号 (令和 7 年)
2025.1.1
発行 板橋区退職者会
編集 会報部

キャラクターの愛称が「けんけん」に決まる！！

板橋区の形をモチーフに創造された健友のキャラクター「犬」の愛称を7月号で募集いたしましたところ全部で18件の応募がありました。その中から、このキャラクターの愛称を、板橋区退職者会の主たる達成目的である「健康増進を図る」をイメージして「けんけん」に決定いたしました。

「けんけん」は、健康増進を図る健友の会員といつも一緒にいるキャラクターとして、「健康(けんこう)」と「健友(けんゆう)」からそれぞれ「けん」を貰い「けんけん」と命名されました。犬の名前としてはちょっと在りがちですが、会員の皆さん仲良くくださいね!! 「けんけん」は、いつも皆さんに会いたくて、板橋区内を走り回っています。



板橋区長 坂本 健

新年、明けましておめでとうございます。5年間にわたり現地へお送りいただき、変わらぬ区

明けましておめでとうございます。板橋区退職者会健友の皆様におかれましては、令和6年度から各事業や趣味部の活動がコロナ禍以前の活気を取り戻し、会員の皆様の親睦を一層深められたと伺っております。

また、職員作品展への出品、ウォーキング大会への参加や運営サポートなど、区の事業に多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さらには、平和都市宣言記念事業による中学生の広島・長崎への訪問に合わせ作成している原爆死没者に対する折り鶴を、5年間にわたり現地へお送りいただき、変わらぬ区

10月には、板橋区とカナダ・バーリントン市との姉妹都市提携35周年を記念し、バーリントン市長をはじめとする公式訪問団が来日しました。区民まつりでは、オープンニングや阿波踊りに参加いただき、板橋ならではの文化を直接、体験していただきました。姉

した。その詩画はなぜか懐かし、そして、美しく、心に訴える作品が多くあります。美術館でのビデオや作品の鑑賞後は、参加者の多くの方がお土産に作品の書かれた絵葉書や詩画集を購入されているのを見て、お連れできて良かったと安心いたしました。

健友は、今までも板橋区のウォーキング大会のお手伝い、選挙の際の投票事務のお手伝いへの会員の紹介等を行なってまいりましたが、今年4月からは、更に板橋区との結びつきを強めるような検討も行っております。

へ積極的なご支援に深く感謝申し上げます。さて、昨年の区政を振り返りますと、7月から8月にかけて、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、板橋区ゆかりの選手が金メダルを獲得するなど、区民に多くの勇氣と感動を与えてくださいました。

8月3日には、「第65回いたばし花火大会」が開催され、今年は荒川放水路通水100周年記念大会として、戸田市とあわせ史上最多の約15,000発の花火を打ち上げました。

尺五寸玉やナイアガラの滝など見どころ満載のこの花火大会を「板橋ブランド」として、引き続き区内外に発信してまいりたいと存じます。

変化の激しい社会情勢において、区民生活や地域経済が直面する課題に対し、スピード感を持った的確な対応が求められており、10年先を見据えた取組が必要です。時間軸を意識した横断的な課題への対応や持続可能な区政経営、区民サービスのさらなる向上に向け、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、退職者会の皆様には、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、退職者会のご発展、会員並びにご家族の皆様方の益々のご多幸とご健康をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

板橋区退職者会会長 茂木 良一



新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健康やかなお正月を迎えたこととお喜

び申し上げます。

令和6年度の事業も春の日帰り旅行のみとなりました。昨年1年間、健友を支えていただいた役員の皆様、様々な事業に参加された皆様のご協力で恙無く事業を実施することができました。心より感謝申し上げます。

また、趣味部におかれましては、コロナ前のような活動を行なえるようになり、同好の士が楽しく活動を行なっている様子をお聴きし、安心しております。

長い歴史を持つ健友ではございますが、令和6年の活動を顧みると、少しずつ内容が変わってきております。陶芸教室は参加者の減があり、

残念ながら事業を終了しました。

また、歌声喫茶については、運営が難しく、新たに交流会としてカラオケやおしゃべりを楽しむ会にしました。残念ながら、まだ、皆様への周知が不足していたこともあり、運営が難しくなったと思いますが、最後は盆踊りまで行って楽しく閉会となりました。

次年度は、より多くの方々が参加したいと思う会に発展させたいと考えております。

更に事務局の頑張り、ホームページをリニューアルすると共に健友事務局のメルアドも作成していただきました。この会報とともに、ぜひ、ホームページもご覧いただき、活用していただきたいと思います。

私個人として、昨年の事業の中で最も印象深い事業は、秋の日帰りバス旅行でした。私は会長になってから皆様を富良野美術館にお連れしたいと思っておりました。その思いを旅行部、役員会が受け止めていただき、やっと実現することが出来ました。

星野富広さんは私たちと同じ世代の方で、昨年4月に亡くなりました。

今後、多くの退職者の方が入会して楽しい、事業に参加して楽しい健友を更に発展させるため、微力ながら頑張っていきたいと思っておりますので、皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様にとって健康で実り多い年となるようお祈り申し上げます。

新年のご挨拶

板橋観光アラカルトシリーズ

「ブラリ散策」板橋の魅力発見

板橋地域センターの1階には、いたばし観光センターがある。

板橋区の様々な観光情報を内外に発信する情報拠点である。

観光キャラクターの愛らしいりんちゃん、のぼり旗に誘われて館内に入ると展示室正面には、ちょんまげ姿と木の橋（現在の板橋）の拡大写真や、初代の縁切り榎の古木が展示されており、まるで、江戸時代にまよいこんだような錯覚がする。

紛れもなく当地は中山道の板橋宿の街道筋であり、様々な歴史を展開しながら賑わった周辺は歴史の宝庫で一歩足を踏み入れると新しい発見がある。

観光センターには現在48名のベテラン観光ボランティア「もてなしたい」さんが区内の観光を無料で案内してくれる。コースは5コース（板橋、常盤台、志村、赤塚、高島平）の地区のほか、要望に応えた場所も可能である。知るは楽しく健康増進を兼ねて昔の栄華をしのびながらブラリ散策もお勧めである。

坂本 富江



板橋区退職者会事務局

場所 板橋区役所9階
正面玄関側エレベーター 左側
「総務課分室」
・水曜日休み
住所 〒173-8501
板橋区板橋2-66-1 総務課内
電話 03-3579-2749

良き先輩と仲間に恵まれて

宮川 修一 昭和28年(72歳)

退職当時は少し解放感のある暮らしを思い描きながら、職場でお世話になった多くの先輩方を慕って、退職者会に入会いたしました。

再任用を経て、これから自由な時間がもっとできるとなると間もなく、思いもしないコロナ禍が生活を一変。行動制限や同調圧力による自粛ムードが続き、猛暑も加わって体力的な不安から、長年続けてきた「高円寺阿波おどり」への参加を一昨年に諦めました。

歳をとって体力や健康面での不安は、避けられないことのように、自分なりに考えて行動していこうと思っています。そして、先輩や同年代の仲間と話しをすることは、この先を生きるヒントがたくさん得られる機会となっています。

あれもしたいこれもしたい!!

中村 泰之 昭和28年(72歳)

近況ねえ? 一番は 2 年前の 9 月健友ゴルフコンペの最中に腰痛でリタイヤし、その後 2 年以上ゴルフクラブを振ってなく未だ復活できずモヤモヤしていることです。腰は脊柱管狭窄症が原因ですが NHK の放送で「筋膜はがし」なるものを見て、治療院を探し 9 カ月通いほぼ回復しました。ジョギングぐらいは出来るようになったので、あとは練習に行けば「OK」かなというところですが・・・色々できなかったことを少しずつ取り戻そうと、今は少し小さくしたバイク「ハーレー 883」(パパさんと呼ばれていますが、まだパパかよ! 213 ジイサンだろ!) に乗っています。ゴルフ練習は 11 月中旬に復活しようと企んでいます、10 月中旬から我マンションのエレベーター架け替え工事が始まり、11 月下旬まで自宅の 10 階まで階段での上り下りになり、毎日がチョコザップ状態になっています。

ちょうどトレーニングになると前向きに捉え、健康につながっていききたいと思います。健康一番ですね (感謝)

普通の日々を大切に・・・

片桐 牧子 昭和28年(72歳)

結婚生活もあと数年で金婚式を迎えます。義父母との同居、子育てと仕事の両立、介護問題と世間の「あるある」を経験しつつ 3 年前に義父母を見送りました。孫たちから「年寄っていいなあ～好きな時に休んだりお茶もできるしね～」と、言われた時には、学生時代のことや保育園勤務時代のことを色々話して聞かせています。「ふ～ん」と分ったり、分らなかったりするようですが孫とのおしゃべりは最高です。

一昨年 70 歳古希の誕生日は病院でした・・・高熱の後、突然に全身が動かなくなり 2 か月以上の辛い日々を送りました。このまま歩けない? 寝たきり? と悪いことばかり考えてしまいましたが、何とかリハビリのお陰で現在は普通の日々が過ぎていきます。歩いて買い物に行く、好きな料理を作る、主人と旅行に行く、という何気ないことが、とても有難く思える毎日です。人間いつ何が起るか分かりません・・・終活は残る人のためでなく、自分自身と向き合いながら普通の日々を楽しんでいけたらと思っています。

ユックリ・スローに

田中 範行 昭和28年(72歳)

干支は巳年、星座はさそり座、血液型は B 型の酒好きです。

健友では、ゴルフ部と麻雀部の他、春と秋のバス旅行も楽しんでいます。

太極拳を習い始めてそろそろ 2 年。最初は立禅(立った状態で瞑想)を行います。呼吸は「鼻から吸って鼻から出す。出す息は吸った 2 倍の時間をかけて出す。」そんな息使いは中々スムーズにできませんでした。太極拳の動きがユックリ・ユックリで体幹を鍛えるにはもってこいです。教室は約 1 時間 30 分程度で帰りは膝がガクガクですが、夜のビールが一番うまい!

これからも、ユックリ・スローな人生を送って行こうと思います。



楽あれば苦もあり

牧野 新子 昭和16年(84歳)

誕生日がくると 84 歳になります。定年退職と同時に長野県大町市に家建てを念願の田舎暮らしを始めました。目の高さで広がる美しい空、凜とそびえる北アルプス、四季折々の自然を楽しみながらやりたい事を思いっきりできる幸せ。第三の人生を謳歌していましたが 75 歳で東京に戻ることにになりました。心残りはありますが夢を叶えた満足感が今も心の潤いになっています。そろそろ東京での遊び方に慣れた頃、突然、人生の壁にぶち当たりました。夫が家で転倒し腰椎骨折、老々介護の始まりです。老いての怪我はなかなか良くなりません。間もなく 3 年、齢をとれば誰もが通る道だと悟り、長い人生で歩調を合わせてくれた夫への感謝の気持ちで頑張っています。

竜宮城に招かれたかに思う日々

竹内 喜美枝 昭和16年(84歳)

65 歳迄再雇用その後、職場が委託となるも同じ職種で 70 歳まで勤務いたしました。

フリーになった時に先輩から船旅(飛鳥Ⅱ)日本船で世界 1 周を誘われ 2012 年 97 日間、2014 年に 5 大陸 112 日間、オセアニア 42 日間、南西諸島 14 日間、アジア 39 日間、日本 1 週 20 日間、外国船 (MSC) 10 日間にも旅してみましたがいやは、日本船は高値ですが楽しく過ごせました。何よりもリピーターの方が多くご近所さん感覚! 今迄夢中で働いて来た私にしては、まさに竜宮城に招かれたかに思われました。

主人とは 3 度の食事時のみ合流し自由に過ごす日々、今日まで入院経験もなくこの年まで元気に居られる事に感謝している今日この頃です。

昭和三十五年入職を想う!

関戸 達男 昭和16年(84歳)

今年、私も 84 歳になり、永い間仕事をしてきた者として考え深いものがあります。

当時は始まったばかりの国民健康保険課に配属され、諸々の職場を渡り歩いて来た事務職として、何でも屋に徹することが私の仕事に一貫して思ってきた 50 年余りでした。異動のたびに出会った職場の方々は、皆懐かしく有難いものでした。

退職者会は、かつて職場と一緒にした方々とのホッとする時間が好きで、貴重な一瞬です。一方、そうした先輩等も今は顔を見かけることも少なくなりました。そこで「退職者会」とは何かを改めて考えてみました。

今ある「退職者会」とは何か? を改めて考えてみると、本物の心からの集いとはいえないのではないかと「単に同じ建物で仕事をした者の集まりにすぎない。」と思うのです。どれ程苦労をして区の仕事を知ってもらおうかと努力した昔が懐かしく思い出されるのです。私が入職した時とは、時代が違うのです。今、区役所で働く人達に昔を知ってもらう積りはありません。

ただの年寄りが、そんな時代を思い出しているのだと、それで良いのだと思っています。

「今が一番幸せ」

小林 倫子 昭和28年(72歳)

公立保育園の園長を退職後、一から立ち上げた私立保育園を 9 年勤めて退職。縁があり法務局の手伝いをしながらの二足の草鞋は困難でした。今は、こどもや保護者からの「こども 110 番」での相談に応えたり、こども達から届けられる手紙に、返事を書いたりしています。拉致問題の蓮池さんの講演会の手伝いは大きな学びでした。

今は志が同じ仲間と、重度の肢体不自由児が学ぶ支援学校の見学で感じた感動を形にするため奮闘中。その他埼玉と東京の保育園の講師やパーソナルトレーナーとの筋力アップ、洋裁を学び自分の服や孫の服作り。時間があれば卓球! 全国大会では団体優勝の常連です。むしろ今の方がずっと忙しい。これからも毎年「今が一番幸せ」と言える自分でいるぞ!

「感謝しても感謝しすぎることはない」

涌井 正枝 昭和16年(84歳)

板橋区には、夫と共に世話になり、ありがとうございました。

在職中、膝を痛め整骨院で治療中に父母の介護に備え、病院主催のヘルパー講座を妹と受け、受講したことで、介護に対する安心感が生まれて良かったと思う。

また、琴・ピアノ・水墨で癒し、自強術で身体をほぐし、家庭菜園で仲間と楽しみながらいい汗をかいております。那須岳の山開きに必ず行き、沼っ原湿原には家族でよくハイキングに連れていってくれた。山が大好きだった夫は、2 年前入院中コロナ感染症により急逝した。

今は、夫が残してくれた先輩・同僚・後輩たちにいろいろ助けられて、感謝の日々を送っています。

健友の皆様には、健康に注意して一日でも長く元気でいてほしいと願っております。

健友落語会に参加して

花野 綾子

健友落語会は、コロナの影響で久しぶりの開催となりました。今回の落語の演目は、柳家燕弥さん「一文笛」、三風亭三朝さん「松ひき」というものでした。私は、目前で落語を聴く事は初めてでしたので楽しみに参加させて頂きました。「一文笛」は、すりの師匠と弟子の秀という人の話でした。秀が貧乏な子どもに笛をあげた事から、子どもが危うく命を落とすところになり、もう二度とすりをしないと右指をつめました。しかし、この子の命を救うため、医者からお金を拝借し、この医者に命

を救ってもらいました。更に、秀は実は左利きだった《オチ》に大笑い。「松ひき」は殿様と家老、植木職人との会話やリズムミカルな楽しい話術の落語でした。この会に参加されていた皆様と共に落語の楽しさを味わう事ができました。来年が楽しみです。ありがとうございます。うございました。



寿 巳年生まれの会員

31人

祝 長寿 万歳

昭和16年(84歳) 14人

原 正彦 高橋 興子
牧野 新子 太田 恵子
田中 保弘 関根 愛子
竹内 喜美枝 亀井 民祥
今井 正勝 保戸 塚
涌井 正枝 関戸 達男
海老原 弘一 江口 操

昭和28年(72歳) 16人

杉山 光治 高田 永子
高野 茂 吉田 智恵
林 房子 田中 範行
片桐 牧子 鈴木 修一
水野 雅哉 宮川 修一
田邊 早苗 霜田 弘義
谷川 光枝 中村 泰之
昭和40年(60歳) 1人

米寿 (昭和12年4月2日生まれ) 昭和13年4月1日生まれ)

佐藤 茂雄 小島 隆也
佐藤 昇 丸岡 義勝
廣瀬 章 本橋 義勝
島田 博 小野 文子
武井 時夫 嶋原 文子
田中 聡行 嶋原 文子

喜寿 (昭和23年4月2日生まれ) 昭和24年4月1日生まれ)

太田 好一 有賀 利武
内山 常子 北川 容子
安井 賢光 針谷 通子
館山 育子 手塚 美子
鈴木 照子 林 幸二
江南 正義 川岸 真子
江口 雲 関原 和子
谷口 平 田中 裕司
谷口 美 山田 清子
植木 佳隆 多田 清美
梅宮 行雄

職員作品展

創作とおしゃべりの会「折紙の会」制作「動物園」様々な動物を折り、動物園に見立てて展示。



職員作品展に参加して

事業部 久田 恵津子

1年間の活動として「おしゃべりと俳句の会」があります。おしゃべりの会では、おしゃべりをしながら折紙を楽しんでいます。出来上がった作品を作品展退職者コーナーに飾り、盛り上げたいと計画、練習を重ねました。

リアルで、今にも歩き出しそうな動物を目指しての動物園です。ぞう、きりん、さるの群れにトトロ、ブタ、ツルなどなど。大きなぞうやキリンを作るには、大きな紙を何重にも折り重ね、首や手足を引っかけてよく仕上げるには指先が起用でないとダメですが、だんだん上手になりますよ！

おしゃべりを忘れ、いつの間にか一生懸命になり大満足です。家に持ち帰ると、孫受けして、おじいちゃんの人気上昇です。会員の皆さん是非参加して下さい。お待ちしております。

交流会に参加して

永山 加秀



12月7日(土)、新規事業の第1回交流会が仲町地域センターで開催された。女性18人男性18人の参加でした。各人が思い思いに飲み物、お菓子を持ち寄っての会。勿論ビールなどのアルコール、つまみに1さん提供のハゼの唐揚げも登場。会場に数曲懐かしの「戦争を知らない子供たち」など流れ、みんなで歌い、雰囲気気が和んだ。ここで会長持参・提供の各種日本酒の前に「利き酒クイズ」となる。見事「久保田万寿」をあてたのは女性のAさんであった。つぎにOさん司会・賞品提供のビンゴゲーム、続いてじゃんけん大会。民謡部による花笠音頭など披露、そして最後に「炭坑節」など全員が輪になって踊りお開きになった。(各テーブルでは近況報告などに盛り上がったみたい)

役員のみなさんありがとうございました。楽しかった。次回も参加をするつもり。

おしゃべりと俳句の会 秋の句会に参加して

山田 常雄

おしゃべりと俳句の会は、おり紙の会と同時に皆が集まって楽しむ事業として始まりました。

皆が作った俳句を皆で選句し、お互いにしどろもどろに批評しあい、講師の講評を得るのが句会ですが、時間を忘れてしまいます。徐々に「季語」の重さ「五七五」の言葉選び「一物仕立て」と「取り合わせ」の作り方と学んでも、また元に戻ってしまうことを繰り返します。俳句は奥深いことば遊びだなあと感じます。

健友の会報やバス旅行でも俳句の投稿が行われています。帰りの車内では車窓を見つめたり、天井を眺めたり、静かに指を折る姿が見られます。また、夏井先生のプレバト俳句段位戦での添削が評判となり、日曜朝のNHK俳句でも句会や凡人脱出法が取り上げられています。

言葉を「探す」「繋げる」ための思考は頭の老化を遅らせる働きがある様です。皆さんも気軽に外に出て季節の俳句を捻ってみてはいかがでしょうか！！

健友ホームページ

みてね! のせてね!!

みてね= <https://itabashikenyuu.tokyo/index/>

のせてね= so-taisyokusyakai@city.itabashi.tokyo.jp

QRコード



いたばしウォーキング大会に参加して

大平 美千代

11月3日は前日までの雨があがって、さわやかな秋日和の大会となりました。

幼少期から暮らし、二十歳から保育士として区内9ヶ所の保育園を渡り歩いてきた私は、板橋区はよく解っているつもりでした。いざ行かん！ 16人ほどの健歩仲間と旗を追いながらひたすら歩いた数時間。広い青空と、頬に寄せる秋風と、皆さんの元気な足運びがまばゆく、命を感じながら。

こども達と散歩で土手すべりをした荒川土手から、蓮根地区、徳丸地区旧粕谷邸の徳丸・赤塚地域に入り、水車公園の水車が回る音が聞こえるような、子どもたちのささめきが蘇るようなあたたかい気持ちになるまれ、過ぎし日々の情景が押し寄せました。周囲はきれいな住宅が増え、街の様相、住人も変わりました。周囲はきれいな住宅が増え、街の様相、住人も変わりました。周囲はきれいな住宅が増え、街の様相、住人も変わりました。周囲はきれいな住宅が増え、街の様相、住人も変わりました。



勿論 順位は最後尾。待っていた皆さまは拍手で迎えてくださり、乾杯の一杯が胸に沁みて、初体験のふるさと平縦断13キロ強、3時間半、23000歩、疲れましたが、良い日でした。さて、来年は？もう半分！ 挑戦する？

120分の1の快感

ゴルフ部 太野垣 孝範

健友ゴルフ部に入り1年が過ぎました。元来ゴルフに對し、積極的ではありませんが、今日も休み、明日も休み、毎日が土曜日。社会との繋がりが健康になります。と言うことで、入部をしました。談笑をし、身体を動かし、一日を過ごす。なんと素敵なことでしょう。しかし現実には、談笑の余裕などなく、一人でコースを右往左往する時間だけが過ぎていきます。

入部をきっかけに、先輩から練習のお誘いをうけ、指導もいただけることとなりました。技量は全く上達しませんが、1球でも、青空を白球が突き抜けていく光景には、充実感も味わえます。練習成果は、一歩進んで二歩下がるで



あり、先輩に申し訳なく思っています。それでも1年が過ぎ、今まで漫然と偶然が支配するゴルフを続けて来ていた私も、魅力を感じはじめ、積極性も芽生えてきた様な気がします。ゴルフ仲間との繋がりの中で、様々な刺激が私自身も気づいていなかった様々なツボを刺激したものと感じています。皆さん、これからもよろしく。

訃報

木下 茂 92歳
令和5年9月13日逝去
菊地 重雄 94歳
令和6年6月6日逝去
菊田 順一 83歳
令和6年7月5日逝去
難波 市雄 80歳
令和6年7月13日逝去
梶本 三郎 88歳
令和6年9月13日逝去
高橋 徳郎 89歳
令和6年9月29日逝去

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

健友掲示板

○創作とおしゃべりの会 (俳句・春)
月日 2月21日 (金)
集合 東武東上線東武練馬駅北改札口
行先 徳丸・赤塚地域
定員 30人
参加費 300円

○春の日帰り旅行
月日 3月6日 (木)
集合 豊洲駅
行先 東京都豊洲市場・千客万来
定員 50人
参加費 8千円 (予定)
※ともに詳細は、募集案内をご覧ください。

編集後記

朝、目覚めると携帯のニュースを開くことが日課となった。時差のあるメジャーリーグの試合結果を見るためである。野球のルールもよく分からないのに、大谷翔平のファンになり毎日毎日彼の姿が映る野球ニュースを何回も見てはガッツポーズを取ったり、残念がったりと一喜一憂する。

このところのニュースといえば、昨年の年明けに能登地方を襲った地震、その後の豪雨による自然災害や海外の終わりのない紛争、様々な事件・事故等々暗いニュースがあとを絶たない。そんな中、大谷翔平の姿は唯一の持ち味が明るくなる。彼の魅力は数々の偉業達成もさることながら礼儀正しさや野球に対するひたむきさ、純真さ……よく言われる野球少年の姿そのものにある。大人になると忘れてしまいがちなものが彼の中にいっぱい詰ま込まれているように思うからだ。

2025年新年も彼の更なる活躍を願い野球ニュースを見た。皆様にとっても心躍る！とまではいかなくてもちよつとニンマリしたり、ほつとする細やかな幸せが見つかりますように。

そして会員の皆様の輪が広がるようちよつぱりお手伝いが出ればと思います。心躍るような、ちよつと、が見つかった時はお裾分けの投稿を是非お寄せ下さい。

松本 加代美

『健友俳壇22回』は、別紙掲載とさせていただきます。
☆各ページのイラストは、坂本富江さんが描きました。

